

地域密着型サービス運営推進会議

令和7年度 第5回報告書

日 時：令和8年1月22日(木)14時～15時

施設形態：グループホーム

会 場：たくひの里 ホール

参加者

利用者代表	2人	地域代表	2人
利用者家族	0人	市担当職員	1人
施設長・管理者・職員	4人	高齢者あんしん支援センター	1人

1、ご利用者の様子

<要介護度>

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
4名	5名	3名	4名	0名

*男性2名、女性15名 平均年齢92.3歳 平均介護度 2.41

◎入退院入退所

- ・入所（11/27）1名
- ・退所（12/21）1名

2、日常の様子

- ・別紙（たくひ通信）写真資料参照

3、研修・会議

- ・感染症研修、まん延防止対策委員会 12/19（金）講師 看護師
- ・個別ケア会議

◎日常の様子についての意見交換

○1月6日の地震について、

- ・後日防災の会に参加しましたが、今後震度7も来る可能性があるとのこと、また先日のように何回か余震がくるのですぐに警戒を解いてはいけないと感じました（施設長）。
- ・地震の時の利用者の様子はどうでしたか（あんしん支援センター）。
- ・ちょうどお茶の時間で皆さん集まっておられましたが、おちついておられてめまいかと思ったと言われる方もありました（職員）。
- ・慌てて外へ出ようとされるようなことはなかったですか、物は落ちなかつたですか（地域代表）。
- ・外へ出られることはなく、物も落ちませんでした。後付けでしたが食器棚を固定しました（施設長）。
- ・もし個々に居室におられる時間帯におきたら心配ですね（市役所）。

- ・今日は初めての参加で落ち着きませんが、昔はこういう会に参加したこともありましたが、よろしくお願ひします（利用者）。

4、自己評価・外部評価について

◎令和7年度 自己評価、外部評価の運営推進会議活用（4回目）

IV、本人の暮らしの状況把握・確認項目（40～49項目まで）

- ・自己評価（職員評価）結果・・・別紙

◎ 意見交換

- ・毎日のバイタルチェックなどをしっかり職員間で共有しているとあるが、記録や情報共有の仕方はどうされていますか（あんしん支援センター）
 - ・タブレット入力と一緒に間分がまとめて見られる手書きの記録と両方利用しています。後は口頭で申し送りやその都度気が付いたことを伝えています（職員）
 - ・気付いた事、疑問に思ったことを発信するということが大切だと思います（あんしん支援センター）
 - ・Bのほぼできているを選択されていることが多いが、毎回話を聞いていると充分にできているでいいのではないかと思います（地域代表）。
 - ・ここまでしてもらえると家族は安心だと思います（地域ボランティア代表）
 - ・インフルエンザが流行っているということですが、対策はどうされていますか（地域代表）。
 - ・手洗い、消毒やマスクを着用しての玄関での面会としています。あとは皆さん予防接種は終わっています（職員、施設長）。
 - ・外に出ることがほとんどできていないとなっていますが、でられなくても散歩程度でも時期的にも仕方がないのではないかと思います（地域代表）。
 - ・近しい人、地域の人とのかかわりも、その人に合わせた支援になっているので、ごく一部の人しかできていなくてもそれは個々にあった支援ができているということでよいのではないかでしょうか。全体の何分の一しかできていないからという判断で評価されなくても、その人その人に合わせてされているので（市役所）
 - ・外部との関係は相手がある事であり、感染症などの心配もあり、評価するにしても職員も思うようにできないところがあるのでないでしょうか（あんしん支援センター）。
 - ・一つ外出ができない理由の中で職員不足がありましたが今年度職員が減りましたか（市役所）
 - ・職員が昨年度より減っています。募集して見学はあってもなかなか採用までつながらない状況です（施設長）。
 - ・全体を通してとても良い雰囲気なのでよいのではないかと思います（地域代表）。
 - ・利用者の方から感謝の言葉をもらっていることは何よりで、介護の仕事をするうえでこの上はないと思いますよ（地域ボランティア代表）。
-
- ・今回で今年度の自己評価は終了しました。

次回は総括して外部評価をよろしくお願ひいたします。（施設長、管理者、職員）